

審査結果内訳

| 評価項目(大項目/中項目) | 評価項目(小項目) | 評価の視点 | 配点 | Iグループ | IIグループ | |
|----------------------------|-----------|--|-----|-------|--------|-------|
| 1. 技術評価点 | | | 70 | | | |
| 1-1 企業・配置予定技術者 実績 | ① 設計企業 | 1.大口径ダクタイル鋳鉄管の開削工法による設計実績は十分か。 2.推進工法の設計実績があるか。 | 8 | 2 | 2.00 | 2.00 |
| | ② 管材企業 | 1.大口径ダクタイル鋳鉄管の開削工法による施工実績は十分か。 2.推進工法の施工実績があるか。 3.ダクタイル鋳鉄管(直管類)の製造実績は十分か。 | | 2 | 2.00 | 2.00 |
| | ③ 配置予定技術者 | 1.配置技術者は水道管路設計・布設工事等の業務実績が十分か。 | | 4 | 3.00 | 4.00 |
| 1-2 業務計画に関する提案 | ① 業務実施方針 | 1.本事業の業務フロー上における重要事項が指摘されているか。 2.確実に業務を遂行するための提案がなされているか。 | 8 | 4 | 2.67 | 2.83 |
| | ② 業務実施体制 | 1.応募者の各構成企業の役割分担は明確か。 2.実施体制、配置人員は十分か。 3.企業間との連絡体制は十分か。 | | 4 | 2.51 | 2.25 |
| 1-3 設計・施工・工期等に 関する提案 | ① 調査・設計計画 | 1.今回必要な各調査の調査計画及び調査内容の考え方は十分か。 2.耐震性、施工性、維持管理性等に配慮した設計計画となっているか。 3.設計図、数量計算、工事費積算等の照査方法に具体性があるか。 4.第三者機関との協議、調整を円滑に進めるための方法は具体的且つ効果的か。 | 40 | 10 | 5.92 | 7.17 |
| | ② 施工計画 | 1.事故に対する安全管理対策、安全管理体制は具体的で実現可能か。 2.地域の特徴を考慮した施工計画となっているか。 3.交通障害、近隣住民、農業者等への影響要因の想定及びその対策は具体的か。 4.施工品質の管理方法は具体的且つ効果的か。 5.施工中に事故や災害等の緊急事態が発生した場合の対応方法は具体的か。 | | 12 | 6.66 | 8.67 |
| | ③ 管材調達計画 | 1.管材の供給体制・供給能力は十分か。 | | 3 | 1.50 | 2.00 |
| | ④ 工期の確実性 | 1.工程表において、準備から完成までの各工種が工期内に網羅されているか。 2.工期の算定根拠は明確かつ具体的か。 3.工程管理方法は具体的かつ効果的か。 4.事業進捗が遅れた場合の対応策は具体的かつ効果的か。 | | 9 | 5.59 | 6.42 |
| | ⑤ 維持管理 | 1.維持管理の容易性が配慮されているか。 | | 3 | 1.75 | 2.50 |
| | ⑥ その他 | 1.職員の負担軽減、職員及び地元企業の技術向上に資する提案はあるか。 | | 3 | 1.50 | 2.00 |
| 1-4 環境対策に関する提案 | ① 環境対策 | 1.建設副産物の処分・削減で評価できる提案はあるか。 2.その他、評価できる提案はあるか。 | 3 | 3 | 1.67 | 2.00 |
| 1-5 地域貢献に関する提案 | ① 地域経済性 | 1.地域経済に対する経済効果があるか。 (算定式により、地元建設企業及び地元協力企業の分担合計額が提案工事価格の20%以上で満点) | 8 | 4 | 4.00 | 4.00 |
| | ② 地域貢献 | 1.地域社会や住民に対する貢献で評価できる提案はあるか。 2.地元企業の技術向上に資する提案はあるか。 | | 4 | 2.33 | 2.67 |
| 1-6 課題解決能力に関する 提案 | ① 課題解決能力 | 1.本事業で想定される具体的な課題に対する解決能力が十分か。 | 3 | 3 | 1.75 | 1.75 |
| 技術評価点計 | | | 70 | 44.85 | 52.26 | |
| 2. 価格評価点 | | | 30 | | | |
| 2-1 費用に関する評価 | ① 提案価格 | 1.提案価格を点数化して評価する。 (価格評価点=30点×(最低提案価格÷応募者の提案価格)) | 30 | 30 | 29.92 | 30.00 |
| 3. 総合評価点(1+2) | | | 100 | 74.77 | 82.26 | |